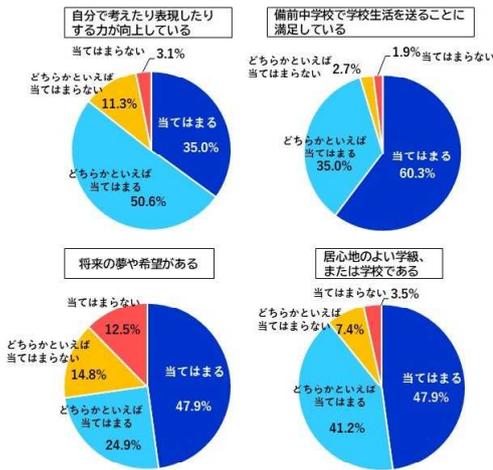


新年度へ向かうために

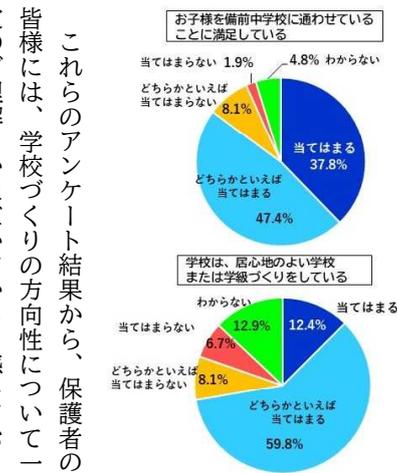
― 学校評価アンケートから振り返る ―

来年度も前に進んでいくために、教職員皆で振り返りをしていくところです。今年度も保護者の皆様及び全校生徒を対象に、学校評価アンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。



多くの生徒が、「学校生活に満足している」「居心地のよい学級、学校である」との回答でした。安心して過ごせる場所であるということは、備前中にとってまずは大切な土台となります。日頃から子どもたちを支えてくださっている保護者の皆様、地域の皆様に改めて感謝を申し上げます。また、「自分で考えたり表現したりする力が伸びている」と感じている生徒も多く、授

業や学校行事、生徒会活動などでの学びが、少しずつでも子どもたちの力になっているのではないのでしょうか。一方で、約一割の生徒が「居心地がよいとは言えない」と感じていることについて、我々は真摯に受け止めてはなりません。子どもたちの顔には出ない思いを見逃すことなく、声にならない声を聞き逃すことなく、より安心して挑戦、失敗できる学校作りを努めていかなければなりません。また、「将来の夢や希望」については、当然ですが、まだ迷いを感じている生徒もたくさんいます。安心の土台の上に、挑戦する勇氣や、明るい未来への期待を育てていくことがさらなる課題だと考えます。

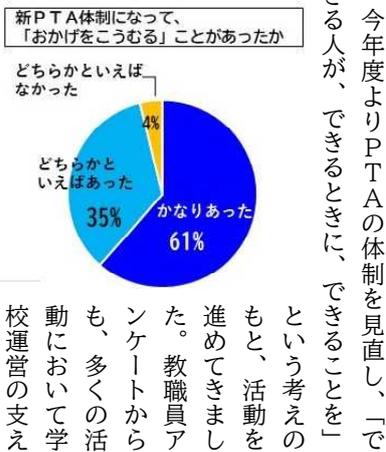


これらのアンケート結果から、保護者の皆様には、学校づくりの方向性について一定のご理解をいただいていると感じております。我々教職員に対して、温かい励ましのお言葉もたくさんいただきました。一方で、さらなる改善を求めるとご意見や厳しい指摘もいただいております。教員個々のさらなる授業力の向上はもちろん、ICT機器の適切な活用についても含めた授業環境の見直し、また進路指導をはじめとした情報提供のあり方等、学校としてできることを整理していく必要があります。家庭と

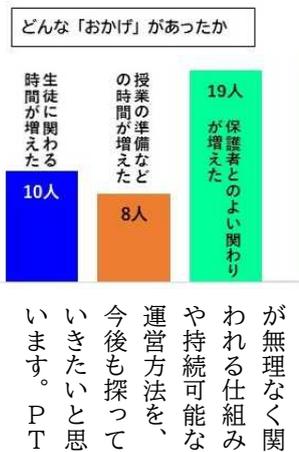
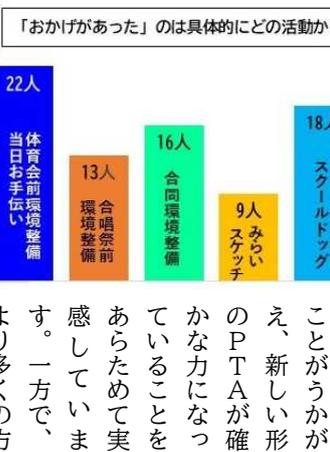
の連携なくして教育活動の効果は望めません。皆様のお言葉の背景にあるものを、想像力を働かせながら誠実に受け止めることが、備前中学校のため、子どもたちのために大切なことだと考えます。

― 新PTA体制について振り返る ―

■ 教職員アンケートから

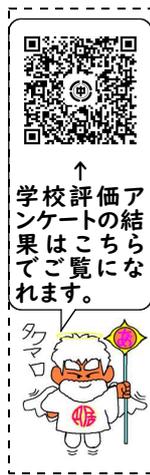


今年度よりPTAの体制を見直し、「できる人が、できるときに、できることを」と



という考えのもと、活動を進めてきました。教職員アンケートからも、多くの活動において学運動の支えとなっていることがうかがえ、新しい形のPTAが確かな力になっていくことをあらためて実感しています。一方で、より多くの方が無理なく関わられる仕組みや持続可能な運営方法を、今後も探っていきたく思います。PT

A共同代表から皆様に対してアンケートのお願いがあります。(本日「キュベル」にて配信)ご協力をどうかよろしくお願いいたします。



― 来年度の導入に向けて ―

■ スクールドッグがいる一日

近年、動物と関わることで心の安定や自己肯定感の向上を図る「動物介在教育」が注目されています。本校では、Social Animal Bondの青木潤一さんのご協力のもと、今年度2回目のスクールドッグとのふれあい体験を実施しました。子どもたちは約束をきちんと守りながら、休み時間を中心に、スー、フルート、アスランの3頭のスクールドッグたちとふれ合いました。一日を通して穏やかな空気が学校にあふれていました。来年度は、学期のはじめや終盤を中心に、継続的な実施ができないか検討中です。何も言わずに全てを受け入れてくれるこのスクールドッグたちと子どもたちのふれ合う様子を見ていると、我々にとってもいろいろと気づかされることがあります。

